

平成21年度 県土整備部環境配慮事例報告書

事業主管課	河川局河川整備課
実施機関	東部県土整備局(徳島)

【事業の概要】

事業の種類	河川・ダム等の整備	河川事業
事業箇所名	徳島市	
事業の規模・状況	7.5 km	小規模事業a 施工段階

【事業の目的及び概要】

当該流域では、近年にも度々、浸水被害を受けていることから、未改修区間の河川改修を進めるとともに、道路事業と連携を図りながら、早期の無堤地区解消に向け、事業を実施。

【実施した環境要素の一覧及びRDBの有無、モニタリングの要否】

大気環境	水環境	地形・地質等	生物多様性	景観	自然とのふれあい	文化財	廃棄物・温室効果ガス等	RDB種の有無	モニタリングの要否
○	○		○					○	○

【特に配慮した環境要素と実施事項】

河川改修工事の事前調査において、ユキワリイチゲ(徳島県版レッドデータブック:絶滅危惧類)の生育情報が得られた。本種は早春季のみに確認が可能であることから、施工実施時期(11月頃)には生育を確認することはできなかったが、過去調査における生育範囲記録に基づき、周辺の表土の一部を施工範囲外に移設した。

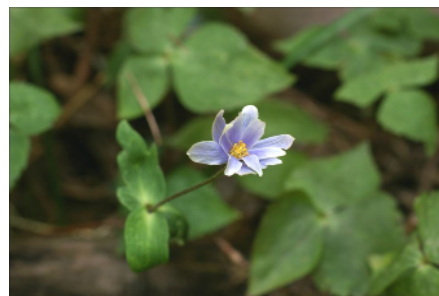
【目標に対する達成状況】

生育範囲に目印を設置することで、施工時の配慮を促すとともに、直接的な改変を受ける恐れがある範囲の表土を移設したことで環境影響を可能な限り低減した。

【実施事項に対する評価】

実施者	今後ユキワリイチゲが確認される早春季に現地確認を実施し、ユキワリイチゲ生育状況のモニタリングを実施する。
主管課	季節的に、施工実施時期に確認できなかった植物について、過去の調査を基に自生している可能性がある植物に対して対策を施したことは、評価できるので、今後、春季の生育確認及び継続的な追跡調査を実施する。
専門家	過去に行われた調査を元に、配慮対策を計画的に行っている点については評価できる。ただ、本地区で記録されているアキザキヤツシロランについては十分ではないという懸念もあるので、配慮対策計画の立案・実施の際に専門家のアドバイスを受け検討を重ねるとよりよくなるだろう。移植後、生育が確認されたユキワリイチゲの再移植については、移植先、移植時期等について相談するなど、専門家との協力体制をより進めていってほしい。

保全対象種



ユキワリイチゲ(キンボウゲ科)

山麓の林のふちや竹林の中などに生育する多年草。かつては、かなり生育していたが、現在では森林伐採や乱獲により減少している。



工事前移植状況



表土採取



移動・マーキング

モニタリング調査(ユキワリイチゲ生育確認)

